

ては屡々論議せられつゝありしかば大正十三年九月、秋水、
10.5
福島市に於て、庄陽高産團体有志に依つて、高産政党問題協議會
が開かれ、遂進展するに至つた。會する者、
總同盟 九州聯合會、官業労働 同志會、

製鐵所 共同研究會、市政研究團、民衆會等

■ 福島政黨組織準備委員會の成立

引續き此種の會合は屢々開かれ大正十三年十月以前記各團體有志等に
依つて高産政党組織準備委員會の成立を見るに至つた。

■ 各地に於ける宣傳演説會

準備委員會が成立するや其の活動は特に目醒く之が第一回の宣
傳演説會を八幡市に開催、演衆無處千六百、猶場外に溢れり。盛
況を告した。因に弁士は聯合會の浅原、廣安、鳥居、同志會の
中田、芹田、島田、民声會の堂本、米村、蒲原である。盛
引續き小倉、戸畠、門司、直方、黒崎、福岡、長崎、熊本、
等の各地で宣傳會を前後数回開催し何れも禮堂に満ち多大の
収穫を得た。

さかと花井、蓮運動に絶へず下さるる、會場借入の妨害、反動
團體の演説會の妨害、運算は盛んに公論と行はれ音に長崎市、
如きは甚とかつた。勿論、官憲の取締亦後退を極め、注意、
中止は屢々採述された。

■ 結黨準備委員會

斯くして宣傳運動に主力を注ぐと共に又他方黨員の勧誘、結
黨準備等々として進行し大正十四年三月下旬結黨準備委員會
を開催するに至つた。

■ 民衆党結黨式

準備委員會の手に依つて凡ての準備なるや大正十四年四月六
日八幡市紀念館に於て結黨式を挙げた。出席代議員百八十名
階上僚龍席には、縣特高課長、八幡市會議員、及び労働者を以
て満された。今主なる事項を摘要すれば次の如くである。

午前九時

一座長、野崎操

一經過報告 鹿岡長太郎

一議長 浅原健三

一書記 並置卓雄、龍口貞美、蓑原某

一党名大開する件

一党則制定したる件 民衆党

一政綱ト関する件 (可決) 提案者 本田 學

一宣言發表の件 (可決) 全 米村長太郎 (頂頭)

一安部義夫氏を顧問に推す作

一八幡市議院選に當より立候補せしむる件 鈴木 留次 (可)

一役員選舉 (三十六名) 中央委員

浅原健三、米村長太郎、中田末三郎、堂本為広

No. 6